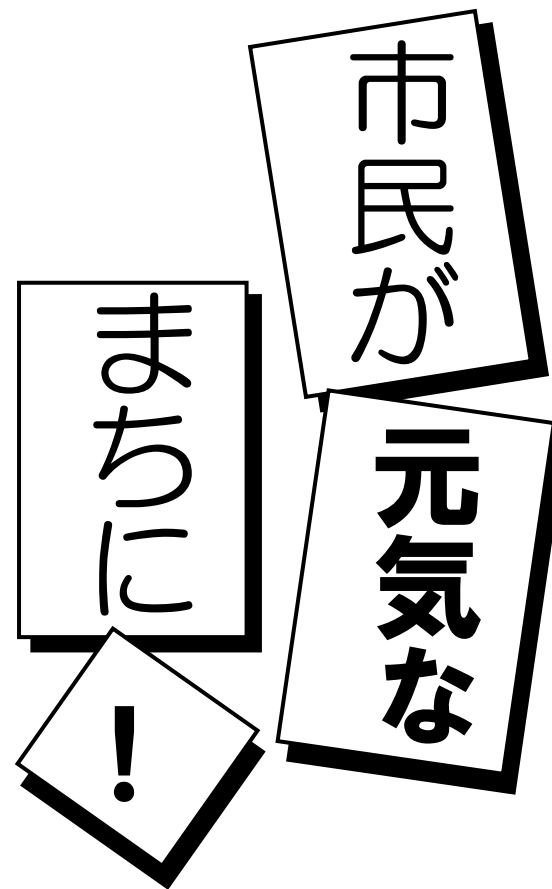


☆☆ 1年間のおもな取り組み ☆☆

月	上谷耕造&上谷耕造を支える会	(参考) 市政・議会・市内の行事
1	①「こんにちは！」発行/市政報告会 新春放談・互礼会 耕春会(旧たけのこC)初出式	市仕事始め 新春のつどい/出初式/成人式/公私立保育園のつどい
2	会員研修旅行 男山地域再生研究会	少年野球駅伝大会 ●2-3月第1回定例会市議会・予算委員会
3	男山地域再生研究会	●2-3月第1回定例会市議会・予算委員会 八幡市展/保・幼卒園式/小・中・高卒業式
4	②「こんにちは！」発行/市政報告会 耕春会たけのこ掘り 春の竹林PARTY	保・幼入園式/小・中・高入学式 背割堤・男山桜まつり/松花堂つばき展 少年野球京阪大会/交通安全パレード
5	男山地域再生研究会	市民総合体育大会
6	市政調査研究会	●6月第2回定例会市議会 佐藤康光杯争奪将棋大会/水防訓練
7	③「こんにちは！」発行/市政報告会	背割堤七夕まつり/高良社太鼓祭り
8	地域再生FORUM	さざなみフェスト/男山各地域夏祭り
9	会員研修旅行 男山地域再生研究会	●9月第3回定例会市議会 石清水祭/市内各地区敬老会
10	④「こんにちは！」発行/市政報告会	幼・小・中運動会/障がい者スポーツ大会 ボランティアフェス/御園神社すいき御輿/ 円福寺万人講 ●市議会決算委員会
11	「まるごとミュージアム」 タウンウォーク 男山地域再生研究会	市民文化祭/文化スポーツ有功賞表彰 交通安全パレード/生涯学習フェスティバル 神應寺紅葉まつり
12	耕春会、年忘れ竹林PARTY	●12月第4回定例会市議会/市仕事納め 市民マラソン

Vol 2



あなたと共に活動する

うえたに こうそう

上谷耕造

(八幡市議会議員)



(注) 「上谷耕造を支える会」の行事の詳しい期日、内容等については、別途お知らせします。

地域交流とふるさとづくりへ まるごと活用を

「ゆとろぎ」。国際日本文化研究センターの片倉もとこ先生が提唱する新しい言葉です。

「ゆとり」プラス「くつろぎ」マイナス「りくつ」つまり「理屈抜き」にいいもの」を意味する造語だそうです。

昨年6月、新しい地に念願の地域交流サロン・八幡まるごと館と後援会事務所が開設できました。改めまして、多くの皆様方のご尽力に深く感謝し、厚く御礼申し上げます。



開館直後、まず、女性たちが動きました。「ゆとろぎの場」を求めて、見知らぬ人たちがポツリポツリと訪ねるようになりました。地元野菜の無人販売、布ぞうり教室も開かれ、館は次第に活気を帯びてきたようです。そんななか、昨秋には、初めての“まるごと市”に挑み、予想を上回る人出でにぎわいました。

オープンから半年。開館イベントの「みんな違って みんないい」とうたう金子みすずの詩やクラリネット演奏で醸し出された「癒しの空間」を大切に、館を舞台に繰り広げられる理屈抜きで楽しめる催しや地域住人の出会いと交流。ともに喜びを持って生きたいと願う仲間たちがつと楽しみながら、出来ることから始める。一味もふた味も違った、まるごと館ならではの真新しい動きがいくつも生まれ、幾重にも広がることを期待します。



小冊子『市民が元気なまちに！』VOL.2 をお届けします。ぜひ、ご一読願ひ、元気なまち・新しいふるさとづくりにご参画願えればありがたく思います。

2010年1月

八幡市議会議員 上谷 耕 造

私・上谷耕造は、故末川博・立命館名誉総長の「理想は高く、姿勢は低く」という教えを胸に、常に高い志とチャレンジャー精神を失うことなく、ごく普通の市民の目線と生活感覚、市民の立場に立った市民主義の政治を重視してきました。

引き続きこの姿勢を貫きながら、①全国に誇れる新しいふるさとづくり ②持続可能な地域づくりと地域主権の確立 ③「時代先取り型」行政・議会の推進一に全力投球します。

<政治活動の3つの柱と具体的な取組み>

(1)全国に誇れる新しいふるさとづくり

まちの魅力アップ

- ☆歴史文化・自然資産を活かしたまるごとミュージアムのまちづくり
- ☆淀川・男山・市駅周辺・東高野街道など“八幡の顔”の重点整備
- ☆神社仏閣、名所旧跡、景観・街並み保全など歴史的まちづくり
- ☆里山再生と緑の保全、河川浄化、道路・公園美化できれいなまちに
- ☆観光資源の発掘・積極活用と受け入れ体制の整備

(2)持続可能な地域づくりと地域主権の確立

地域の自立

- ☆歩いて暮せる、住み続ける値打ちのある男山地域に再生
- ☆次世代を担う人づくり、安全安心な地域づくり
- ☆地産地消、特産物づくり、地の利を生かした企業誘致と産業振興
- ☆食育・子育て支援、介護予防・健康づくりの推進
- ☆市民活動の活性化とサポート体制の確立

(3)「時代先取り型」行政・議会の推進

行政・議会の活性化

- ☆徹底した情報公開と市民協働推進型の行政
- ☆職員の専門職化と横の連携強化による行政能力・組織力の向上
- ☆決算の迅速化と決算評価を活かした予算編成
- ☆自主財源の確保とムダ排除、健全な行財政運営
- ☆市民に身近な議会と提案型議会運営への転換

八幡まるごとミュージアム



市内のおもな地域資源

東高野街道・放生川(大谷川)・安居橋・男山みやびの森と散策路・男山桜祭り・男山レクセン

北部
●淀川・三川公園・背割堤の桜●石清水八幡宮と石清水祭・神應寺・飛行神社・らくがき寺●エジソン碑と竹●航海記念塔●高良神社と太鼓祭●橋本旧遊郭街と狩尾神社・橋本渡し

木津川・木津川河床遺跡群・水生生物・野鳥・河川敷スポーツ公園・木津川堤サイクリングロード

西部
●善法律寺・正法寺・泰勝寺ほか旧街道沿線社寺●ういろ・走井餅・源氏巻など和菓子・八幡巻き●竹筆・紙鯉●西車塚古墳・八角堂●松花堂庭園・美術館・つばき展・ふれあい市●さくら公園・こども動物園

●松花堂美術館
=コア施設：これまでの博物館の役割に相当
▼事務局=総合情報センター、研究所・学校、保存センターの機能▼調査研究・蒐集保存・展示・情報サービス・ライブラリー▼レストラン・ショップ▼教育普及・学習支援・人材育成

東部
●流れ橋・四季彩館・朝市●市民運動公園・体育館●石田・内・御園神社とすいきみこし●伊佐家住宅●宇治茶畑●岩田帯●工業団地●観光梨園となし狩り・市民農園●算額・連歌奉納

東高野街道・洞ヶ峠・国道1号線

南部
●八幡JCT・IC●新しい住宅街●美濃山竹林・たけのこ栽培●観光ぶどう園●水月寺と和宮●円福寺と萬人講●美濃山古墳群

防賀川の水辺・あぜ道・田園ルート・鎮守の森

- I. 新しいふるさとづくり=“まるごとミュージアム運動”————(1)
- II. 八幡まるごと館————(5)
 - 1. まるごと館案内
 - 2. まるごと館活動
- III. 耕春会————(7)
 - 1. 耕春会の案内
 - 2. 耕春会のおもな活動
- IV. 歩いて暮せるまちへ～男山地域の再生————(9)
 - 1. 開発の経緯
 - 2. 団地の集約化
 - 3. 団地の集約化の影響と再生後の効果
- V. 市議会————(12)
 - 1. 議員
 - 2. 会派別構成
 - 3. 任期
 - 4. 議会構成
 - 5. 議員報酬
 - 6. 本会議 会期
- VI. 選挙結果————(13)
 - 1. 党派別得票率
 - 2. 上谷耕造の得票状況
 - 3. 地域別有権者数と投票率
- VII. 行政組織————(15)
 - 1. 職員数
 - 2. 組織
- VIII. 財政状況————(16)
 - 1. 歳入
 - 2. 歳出
 - 3. 財政構造
- (参考) I. 市勢の概況————(18)
- (参考) II. 八幡市の基本的なまちづくり方針————(19)
- (参考) III. 主要施設の案内————(21)
 - 同 位置図————(22)
 - 上谷構造を支える会 会長 畑中 清博 あいさつ————(23)
 - 同上 顧問 森 茂樹 あいさつ————(24)
 - 上谷耕造のプロフィール————(25)

I. 新しいふるさとづくり＝“まるごとミュージアム”運動

八幡市には、このまちならではの歴史・自然・産業・伝統文化・達人など豊富な“地域のお宝”があります。

八幡まるごとミュージアム運動は、大規模な開発に頼らずに、地元の魅力ある資源の発掘や再発見、再活用により、宝の“いわれ”や“魅力”“素晴らしさ”を再確認することで、自分たちの地域に愛着と誇りを持ち、互いに値打ちを認め合いながら、次世代の人たちに保存伝承し、市内外の人たちに伝え発信することによって、地域とまちの振興に役立てようとする運動です。

地域やまち全体を青空博物館にすることで、産業振興やまちの活性化をめざします。この運動は、グローバルな不況や環境問題、地域主権の時代にふさわしい「次世代型」「共生型」の新しいふるさとづくりの切り札といえます。



●“お宝探し”から“地域づくり”へ

探す 地域固有の資源・お宝を市民の手で発掘・発見
埋もれたモノ、忘れ去られたコトや記憶、ご近所の達人も

磨く 発掘されたお宝を調べ学習、さらに磨き・育てる
お宝の値打ちを調べ学習し、共通理解を深め磨きをかける

誇る お宝への愛着と誇り、価値の再確認と認め合い
お宝に惚れ込み“市民の文化財”に認定、自慢合戦も開催

伝える お宝の魅力を様々な方法で多くの人々に伝える
ウェブや小冊子などで伝え、イベントなどで感じてもらう

興す お宝を“まちの顔”として地域振興に役立てる
“まちの顔・広告塔”として「地域興し戦略」にフル活用

Ⅲ. 耕春会（旧たけのこくらぶ）

1. 耕春会の案内

●収穫を楽しみ、喜ばれ、地域貢献

耕春会（こうしゅんかい）は、高齢化と人手不足により、地権者の管理と手入れが行き届かなくなった美濃山の竹林をお借りし、たけのこ畑の復元と栽培、竹林の保全に取り組んでいます。

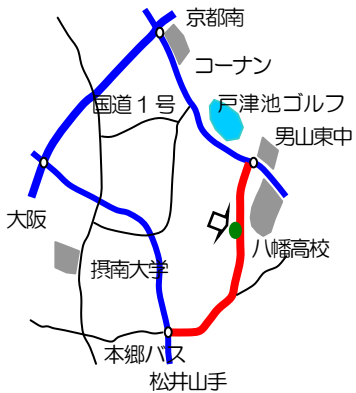


＝写真は、春の収穫祭・竹林PARTY

退職シニア世代を中心に会員を募り、
①仲間とともに楽しみながら、竹林で心地よい汗を流し、収穫の喜びが得られる

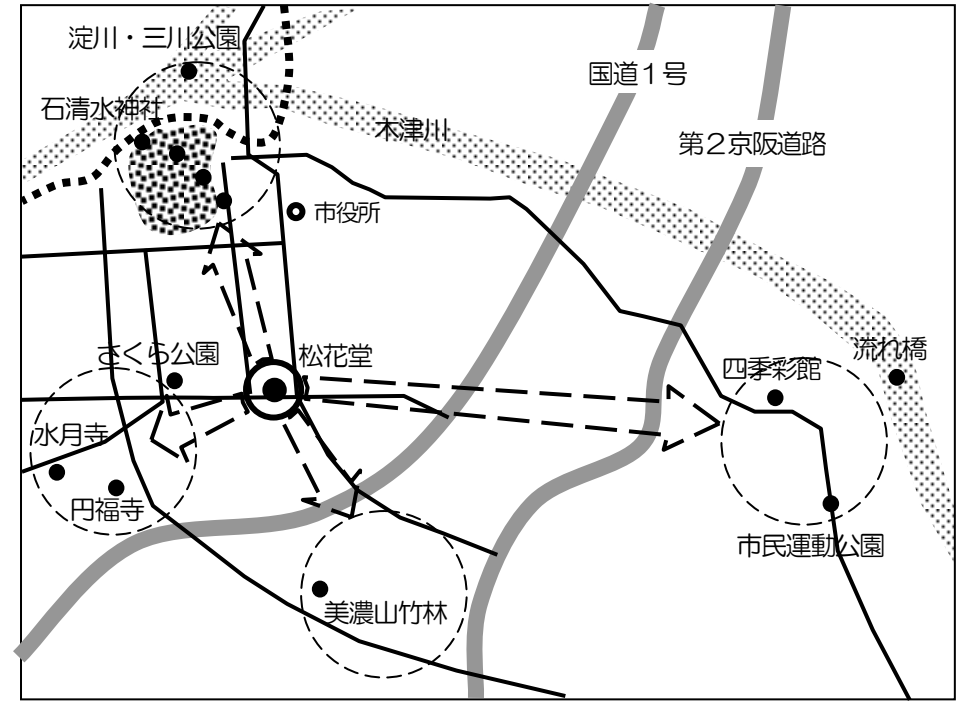
②負担が軽減され、地権者から喜ばれる③地域の景観もきれいになり、貴重な地域資源としての「特産タケノコと竹林」の保全とともに、防犯上も貢献できる

——といった一石三鳥の効果を狙って、無理せずに活動しています。



▼美濃山フィールド略図

- 若者や団塊・シニア世代の“竹林デビュー”をお待ちしています！
- 活動日は、毎月9のつく日の午前10時から午後2時頃まで。場所は美濃山第1・第2フィールド(左図参照)
- お問い合わせ＆入会希望者は下記まで。
[* 木本 s-kimoto@asahi-net.or.jp](mailto:s-kimoto@asahi-net.or.jp)
[* 岡本 okamoto5309@kuc.biglobe.ne.jp](mailto:okamoto5309@kuc.biglobe.ne.jp)
[* 井藤 m-itoh@lagoon.ocn.ne.jp](mailto:m-itoh@lagoon.ocn.ne.jp)

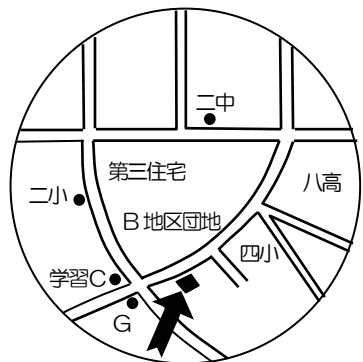
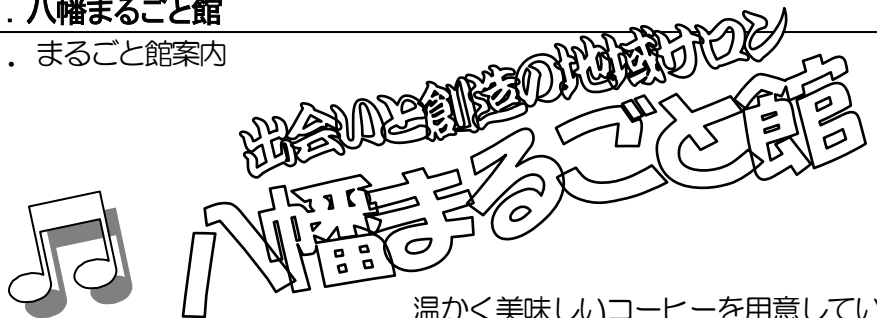


□**八幡まるごとミュージアム**とは、エコ（＝フィールド）ミュージアムの八幡市版です。 □エコミュージアムは「エコロジー」（ecology、生態学）＋「ミュージアム」（museum、博物館）から生まれた言葉です。 □従来のミュージアムは、展示物の一部を切り取り、部屋に納めて展示陳列、保存しますが、新しいミュージアムはあるがままの状態、まるごと展示保存します。ひとの記憶や伝承なども対象となります。

□前頁の図をご覧ください。**八幡まるごとミュージアム**には、①まず、コア（中心）施設が必要です。従来の博物館に当たる機能ですが、八幡の場合は、松花堂でしょう。 □②次は、サテライト（衛星）施設です。東西南北の地域・分野・テーマごとに展示されます。博物館の分館に当たるものです。 □③最後は、各サテライト間を結ぶ回廊（＝図の点線部分）が「発見の小径」（＝ディスカヴァートレイル）です。観客を五感で楽しませる仕掛けや展示物の理解を助け、深めるための情報やヒント、案内サインなどを設置します。

II. 八幡まるごと館

1. まるごと館案内



温かく美味しいコーヒーを用意しています。お友達と気楽にお立ち寄り下さい。
地域情報満載の八幡まるごと館は、ワイワイ・ガヤガヤの談話室です。様々な催しにもご利用下さい。

〔八幡まるごと館の年間主催行事（予定）〕

- | | |
|--------------|---------------|
| 1月 まるごと館開き | 10月 秋の「まるごと」市 |
| 2月 味噌づくり | 11月 手芸教室 |
| 3月 フリーマーケット | 12月 切り絵講習会 |
| 4月 布ぞうり講習会 | まるごと館納め |
| 5月 春の「まるごと」市 | |
| 6月 開館記念行事 | |
| 7月 布ぞうり講習会 | |

税務・法務相談

健康料理教室

野菜節

写真展示会

物販

.....(ご利用の手続き).....
指定の用紙に必要事項を記入して、お申し込みください。用紙は、事務室にあります。
.....(申し込み場所).....
まるごと館の事務室に、申し込みください。
.....(利用時間・利用区分).....
■利用時間 9時～17時が原則。休館日もあります
■利用区分 1日利用、午前利用、午後利用
※使用料は使用目的により異なる場合があります。事務室にお問い合わせ下さい。TEL&FAX983-3664

2. まるごと館活動

昨年6月、開館以来のおもな活動を写真で振り返ります。

●2009年6月6日 オープニングセレモニー



●布ぞうり/きり絵教室



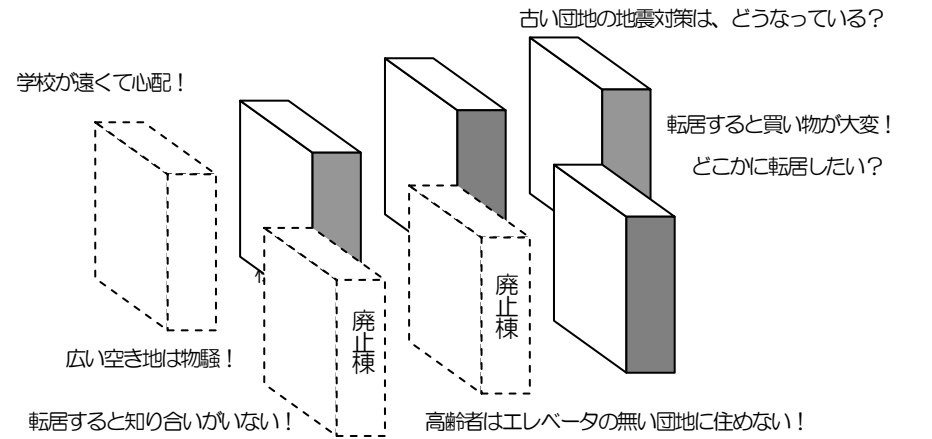
●2009年10月25日 秋のまるごと市



●2009年11月27日 “祥子”さんライブ

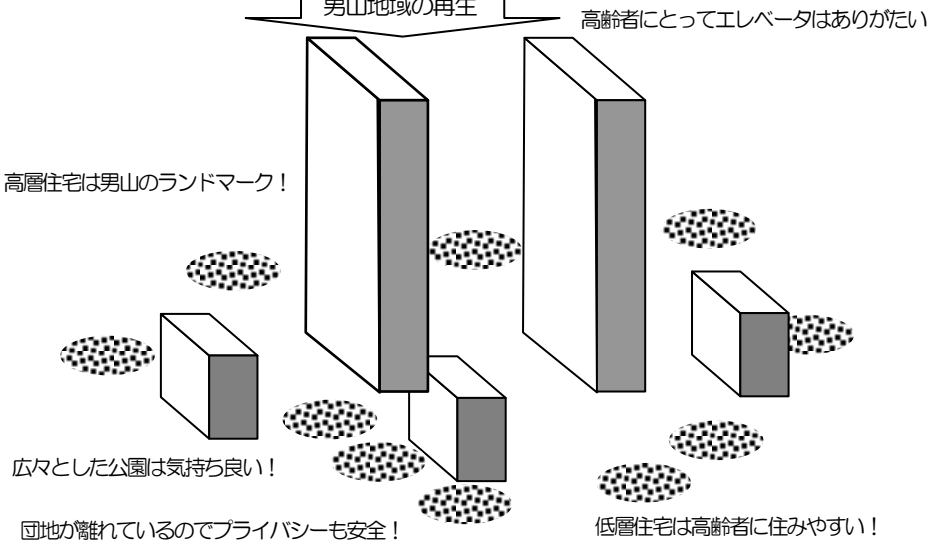


3. 団地集約化の影響と再生後の効果

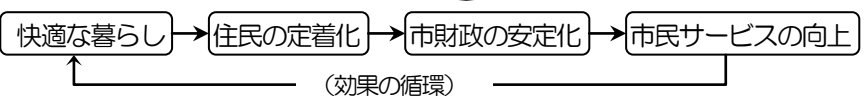


集約化は、男山の衰退?

男山地域の再生



再生後の男山は、様々な効果を持続的に生み出します。



2. 耕春会のおもな活動

●八幡の特産物・たけのこの栽培と竹林の保全

2006年10月から活動を始め、鬱蒼とした竹藪を切り拓いて、今では整然とした元のタケノコ畑に蘇っています。



- <主な年間活動>
- 1月 仕事始め
 - 2月 竹林整備
 - 3月 収穫
 - 4月 収穫PARTY
 - 5月 新竹林整備
 - 6月 総会
 - 7月・8月 下草刈り
 - 9月 竹きり
 - 10月 竹きり
 - 11月 竹きり
 - 12月 肥料・土入れ
- 納会PARTY

▲写真は、左上から時計回りに①3月早々のタケノコ②竹炭の材料作り③肥料入れ④納会PARTY

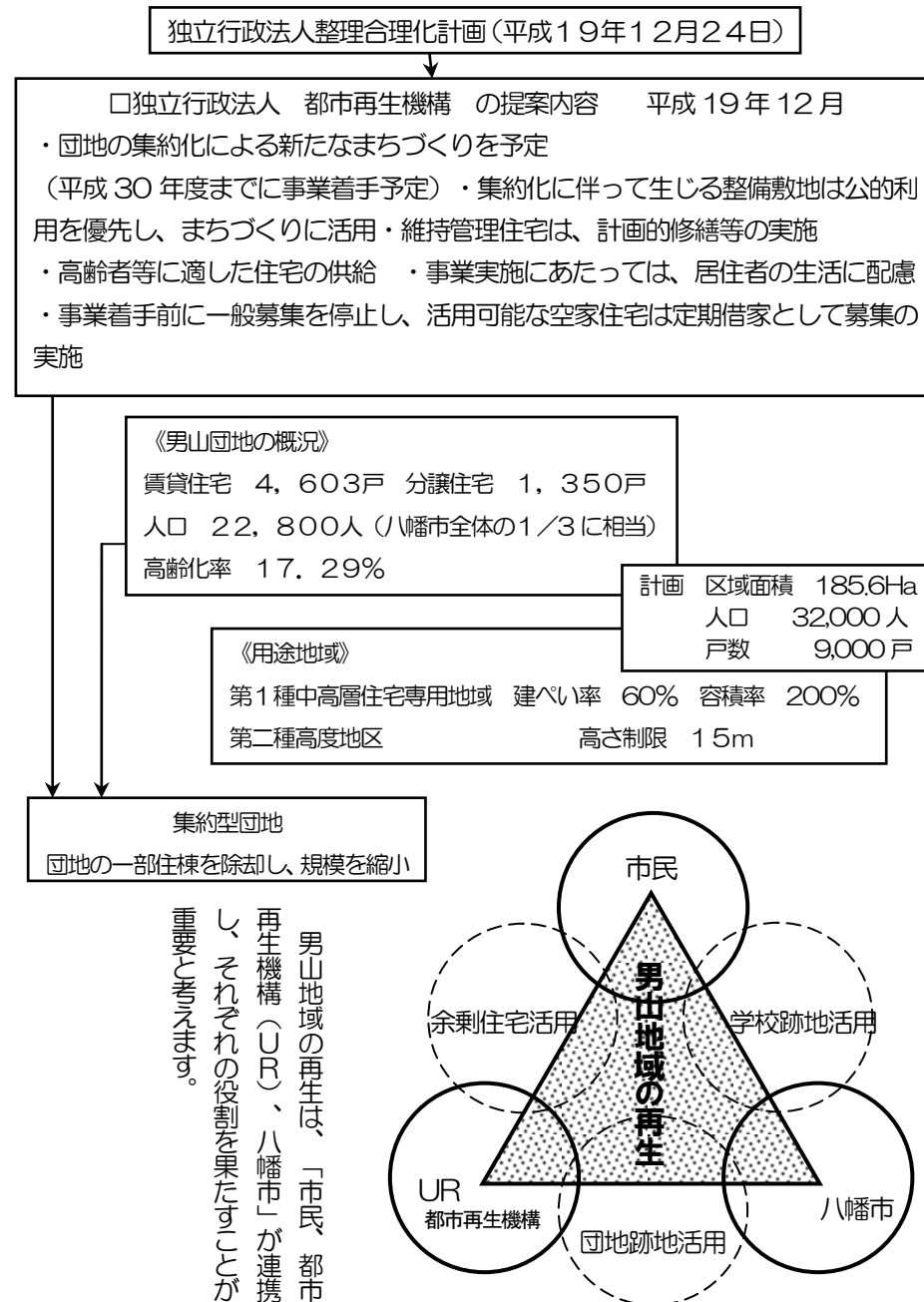


IV. 歩いて暮せるまちへ～男山地域の再生

1. 開発の経緯

《男山地域の動き》		《社会の動き》	
S 35.2	八幡市臨時議会 工場等誘致条例の制定	S 35.12	国民所得倍増計画の決定 (池田内閣)
S 35.6	工場等誘致審議会 公団住宅の誘致を橋本 ～美濃山地区の86万坪を予定		
S 37.6	〔八幡町政だより〕 長い間八幡は変わらなかったが、男山 丘陵は著しく変容しており、今後さら に変化は激しくなるだろう。	S37 S 37.12	新産業都市建設促進法の施行 公団は八幡町を住宅開発事業施 行区域に決定
S 38	八幡町の一般会計予算1億4,200万 円のうち33%を建設事業に充当	S 38.2	公団は開発計画の概要を内示 (計画面積 56万坪)
S 38.12	農地転用の不同意(議会)	S 39.4 S39	公団から八幡町に文書送付 農地転用が不可能であれば住宅開発 は中止 住宅誘致は八幡町が熱心である 開発の断念もあり得る 京都府総合開発計画の方針決定 (八幡町から田辺町の西部丘陵地帯 を住宅開発に造成)
S 40.2	臨時町議会 開発促進を議決 買収価格 平均4,800円/坪を決定	S 40.4	近郊整備区域に指定 (近畿地方整備法)
S 41.4	現地測量の開始		
S 44.5	団地名を男山団地に決定		
S 44.11	団地の南部から造成工事に着手		
S46	団地入居の開始		

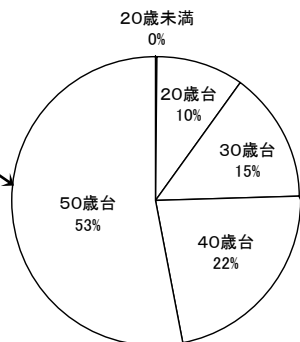
2. UR団地の集約化



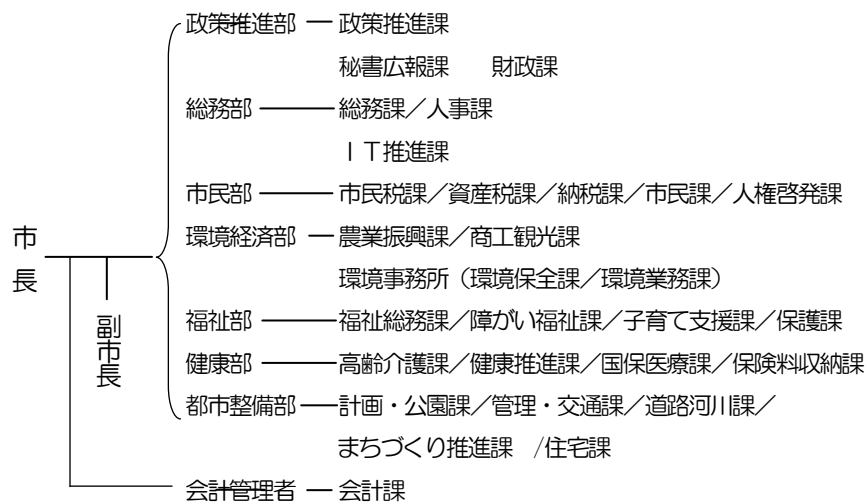
VII. 行政組織

1. 職員数 —— 条例定数 668人 現員 595人

2. 年齢構成



3. 組織



平成21年4月現在

V. 市議会

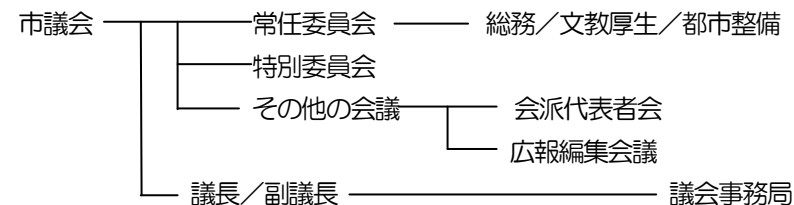
1. 議員 法定上限数 30人 条例定数 22人 現在 20人

2. 会派別構成

日本共産党八幡市議会議員団	5人
改革市民の会	5人
八幡みどりの市民	4人
共生クラブ	4人
公明党議員団	2人

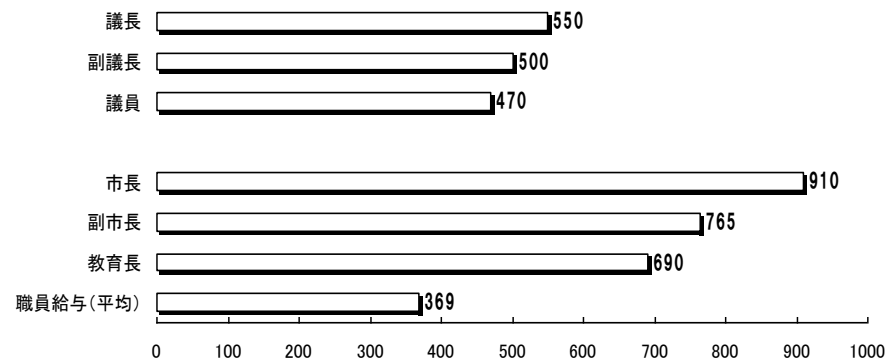
3. 任期 平成19年4月30日～平成23年4月29日

4. 議会構成



5. 議員報酬

報酬(給与)H21.4現在 単位:千円/月

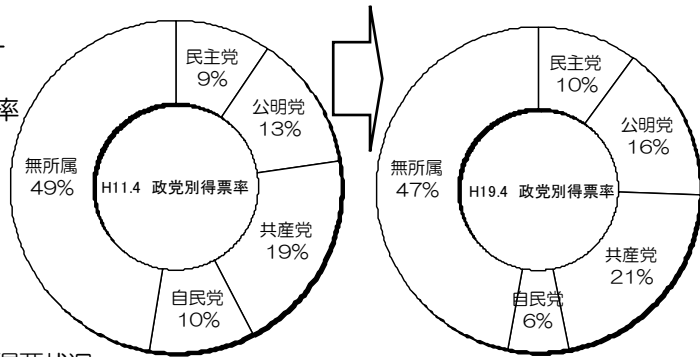


6. 本会議 会期 (注) 平成20年度

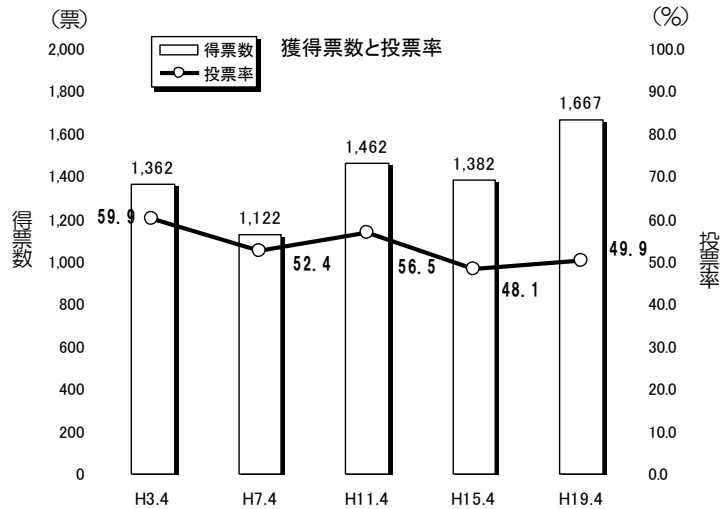
第一回 定例会	3月7日～3月28日	傍聴者数	79人
	市長提出議案 (28)	議員提出議案 (2)	請願 (0)
第二回 定例会	6月10日～6月27日	同上	38人
	市長提出議案 (24)	議員提出議案 (5)	請願 (1)
第三回 定例会	9月5日～9月25日	同上	75人
	市長提出議案 (8)	議員提出議案 (3)	請願 (0)
第四回 定例会	12月5日～12月24日	同上	13人
	市長提出議案 (17)	議員提出議案 (7)	請願 (2)

VI. 選挙結果

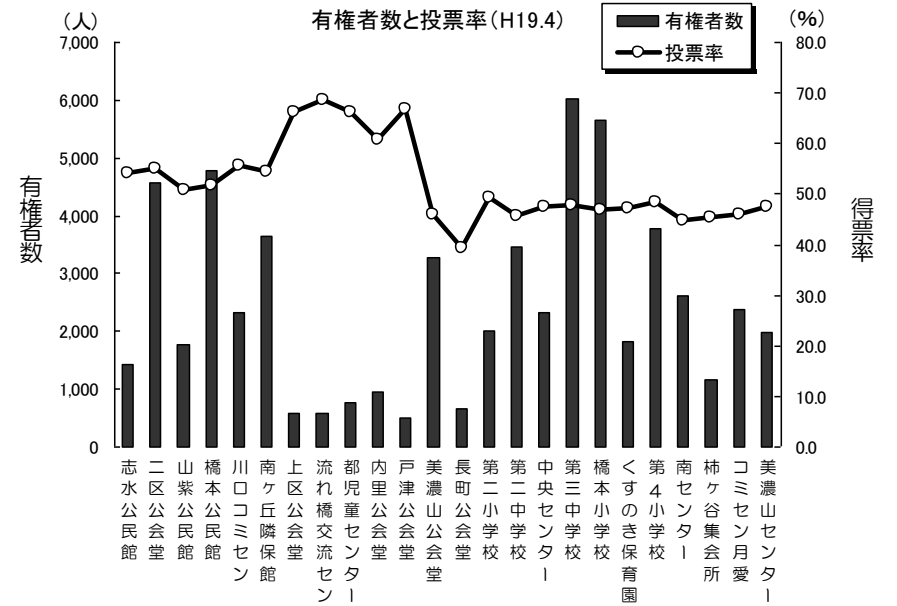
1. 党派別得票率



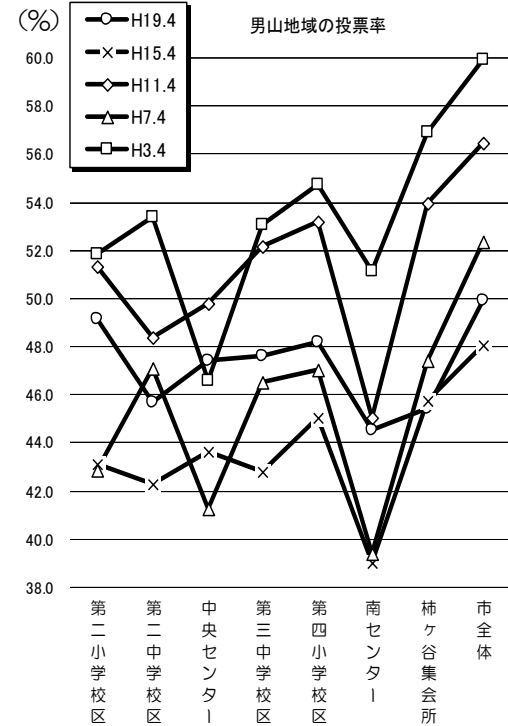
2. 上谷耕造の得票状況



3. 地域別有権者数と投票率



男山地域の投票率



平成十九年に行われた市議選の際の有権者数は、第二中学校区が最も多く、次に橋本地区です。また、少ない地区は、戸津等です。一方、投票率は、全般的に男山地域において低く、戸津地区では、有権者の七十%以上の高い有権者が投票している状況となっております。

男山地域の投票率の推移をみると、市全体と比較すると低い状況全体的に四小学校区が高く、第二中学や中央センタ地区が低くなっています。

(参考) II. 八幡市の基本的なまちづくり方針

1. 第四次八幡市総合計画 2007年度策定 (H19年3月)

(1) 八幡市の主要課題

- ① 人権を尊重しだれでも輝く地域づくり、これからの八幡を担う人づくりの推進
- ② 豊かな地域資源を活かしたまちづくりと新しい都市イメージの形成
- ③ みんなが安心して暮らせるまちづくりの推進

※本市全体の人口・世帯数の約3分の1を占めるUR 賃貸住宅等の建替え等の検討

④ 活力あふれ人がつどう交流のまちづくりの推進

(2) リーディングプロジェクト

(住宅・住環境整備プロジェクト)

- ・市営住宅や男山地域の集合住宅の「やすらぎの生活都市」としての再生
- ・独立行政法人都市再生機構 (UR) による整備の促進
- ・男山団地の快適な住宅、住環境の維持、住宅の老朽化への対応は本市の大きな課題
- ・住宅、住環境のユニバーサルデザイン化による高齢者等の福祉への対応
- ・市内交通の利便性向上、地域の商業の活性化等

(注) リーディングプロジェクトとは、「厳しい財政状況のなか、限られた財源を必要な施策に集中的に投下することにより、第四次総合計画におけるまちづくりの重点目標を明確にし、総合計画の成果を目に見える形で実現することを目指すものです。

(注) 「男山地域活性化基本構想」(平成17年)は、第四次総合計画の策定にあたって、男山地域が有する機能と市民生活の現状を踏まえつつ、男山地域の活性化を目指して、望ましい将来像をとりまとめた構想

2. 八幡市マスタープランにみる「まちづくり」 2007年度策定 (H20年3月)

(まちづくりの基本的課題)

① 少子高齢社会と人口減少社会への対応

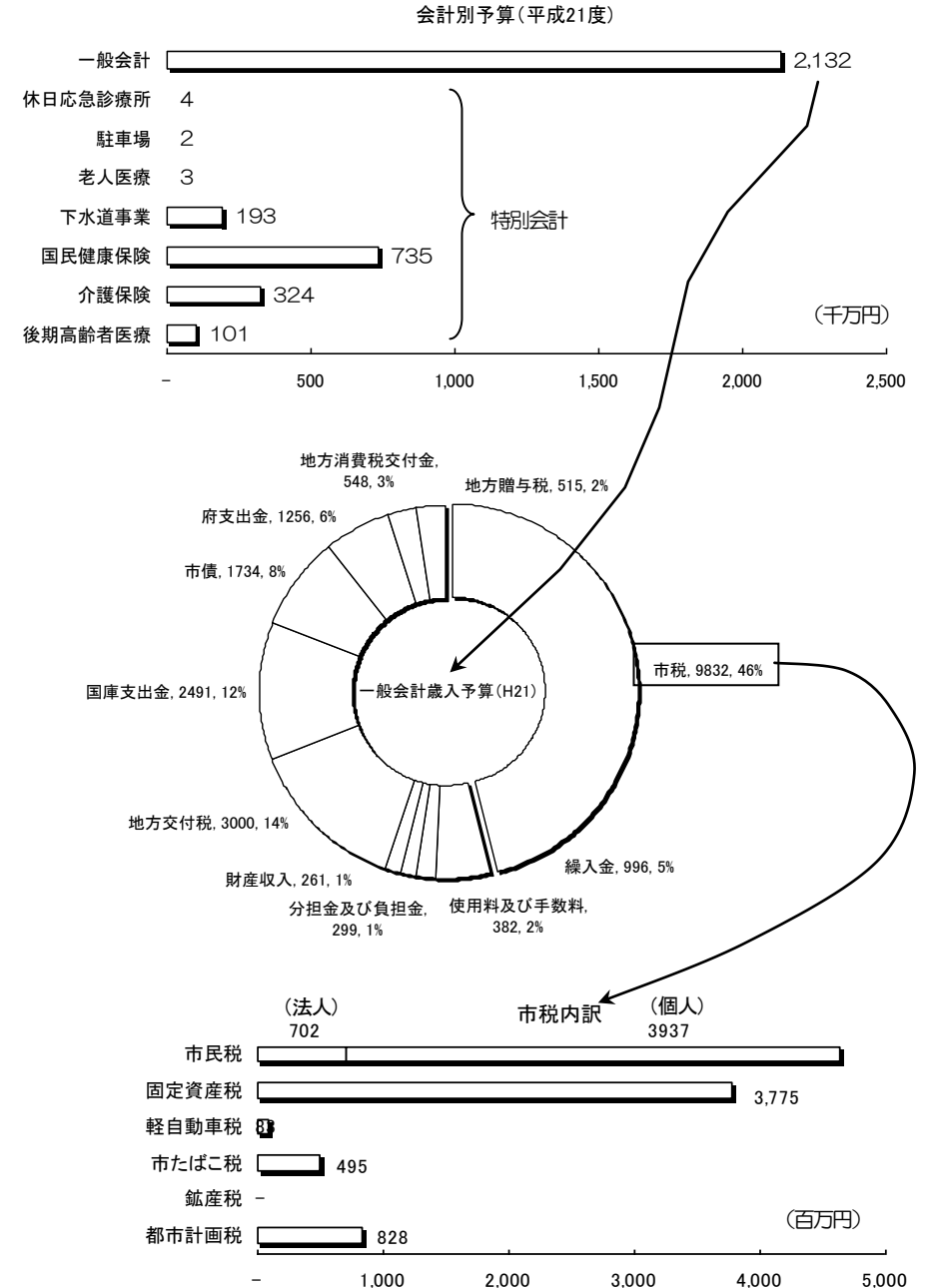
- ・広域幹線道路の結節点となる立地特性等を活かした、新たな産業振興地の形成
- ・商業や観光レクリエーションの振興による魅力ある地域拠点の形成
- ・都市資源の活用を図ったまちづくり

② 価値観、生活様式の多様化及び地方分権社会の進展への対応

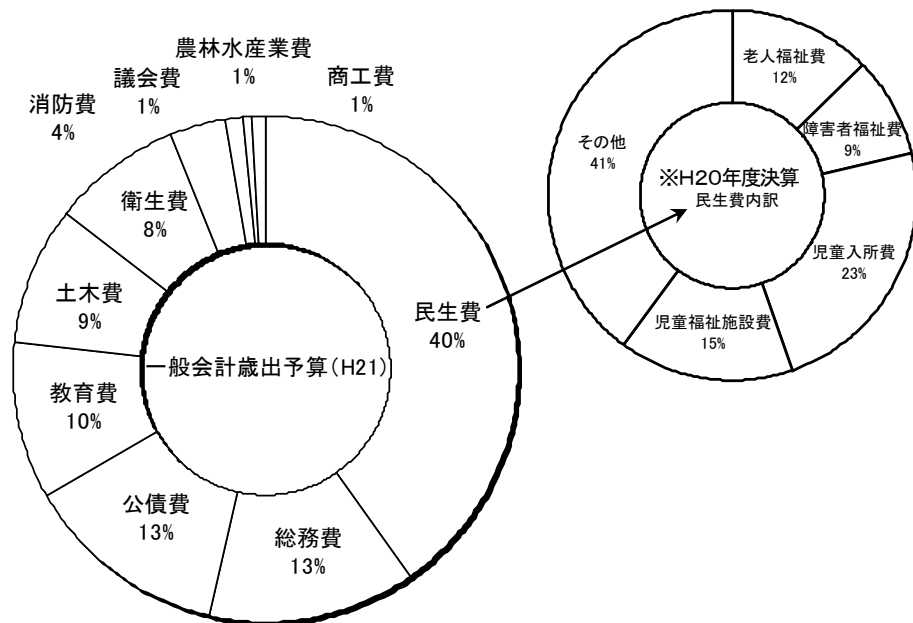
③ 地球環境問題に配慮したまちづくりへの対応

VIII. 財政状況

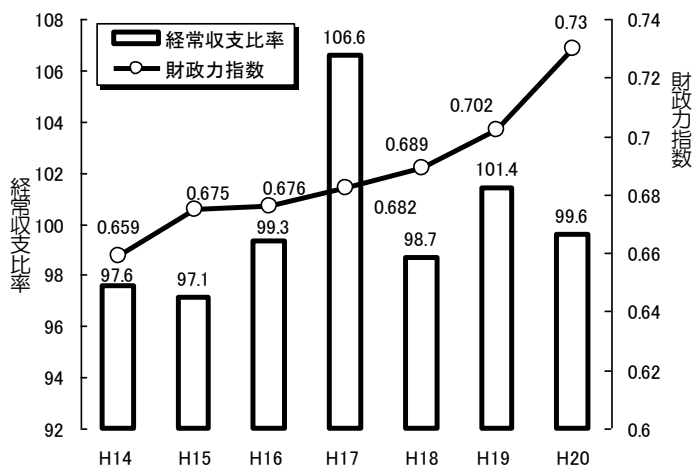
1. 歳入



2. 歳出



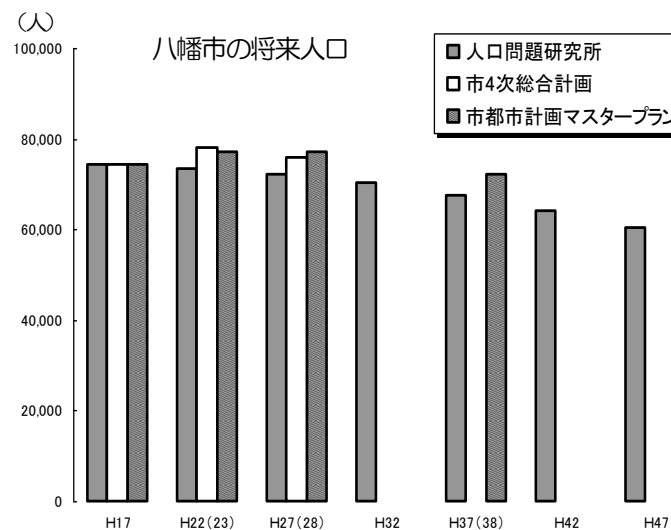
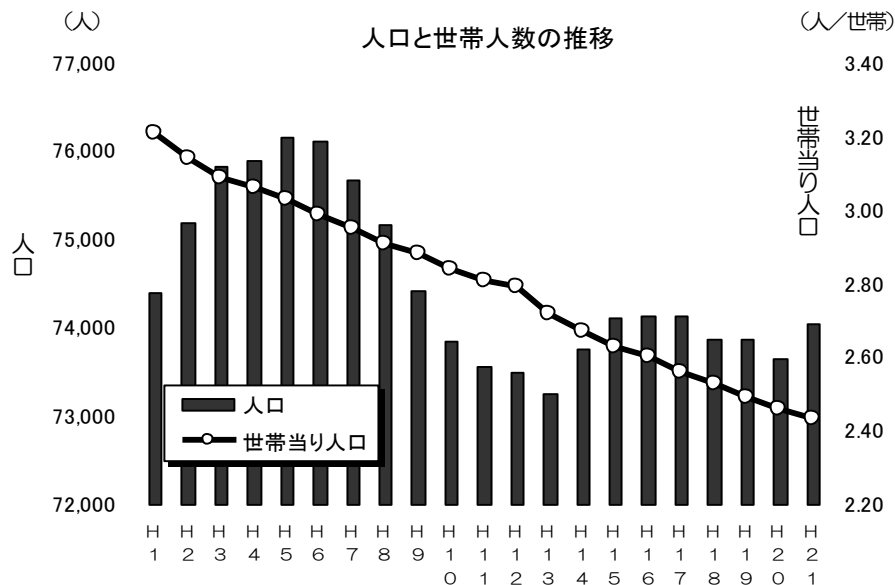
3. 財政構造



※財政力指数とは、収入を歳出で除した値を示し、この値が大きい自治体ほど、財政に余力があることを示しています。
 ※経常収支比率は、経常的な財政状況を示す値で、100を超えると自治体は赤字財政であり、北海道夕張市は125程度の破綻しており、八幡市の財政状況も厳しい環境が続いています。

(参考) 1. 市勢の概況

人口は平成5年頃をピークに減少傾向を示し、平成15年頃に増加を示しましたが、平成21年初では約74,000人となっています。また、世帯当りの人口は、減少傾向が続き、過去20年間において、3.2人程度から現在では2.4人まで大きく減少しています。



八幡市の将来の人口は、今後、減少傾向を強め、平成四十年頃には、現在より一万人ほどの減少が予測されています。

市民による文化創造の拠点に

上谷耕造を支える会・会長 畑中清博

皆さんは健やかに新年を迎えられたことと存じます。

平和と豊かさ、潤いある多様な暮らしに期待を寄せた21世紀が早いもので10年を迎えました。しかし、かつて抱いた期待は夢のまた夢に終わろうとしています。テロによる殺戮、平和維持の軍事作戦と際限のない報復、百年に一度と言われる経済危機と貧困、計知れない惨事を招く自然災害など枚挙に暇のない程です。

所詮人類は、多くの犠牲から教訓を学び、知恵を出し、工夫をこらして人々が弛まざる努力を続けることで活路を拓き、希望を実現してきたことを初心に戻って学ばなくてはと痛感しています。

全知全能のリーダーはいないが、良きリーダーを育てることは私達にもできます。オールマイティでなくても一人一人の得意、特技専門分野を駆使して、情報、知識、意見、芸術などを集積し、発信し、多くの市民に公開し、政策決定者・執行者に伝え、その結果を検証する。そんなステージ・場所が欠かせません。

幸いにも、上谷耕造氏と支える会の会員の皆さん方のご尽力により、地域交流とふるさとづくりを考えた、地域交流サロン『八幡まるごと館』が開館し新しい年を迎えました。

皆様方のご参加・ご参画を期待しています。

(畑中労働経済研究所所長)

④都市型社会への対応

- ・公共交通機関等を活かして、まちとしての機能、質を高めたコンパクトなまちづくり
- ・だれでも安全、安心に暮らせるまちづくり
(まちづくりの整備構想)
- ・男山地域の土地利用方針
現在の良好な住環境の保全及び新たな市街地ではゆとりある住環境の形成
- ・男山地域で築30年以上経過している集合住宅地の再整備
(住宅・住環境の整備方針)
- ・男山地区にみられる集合住宅では、住戸面積や住宅設備等の居住水準の確保に向けて、独立行政法人都市再生機構との協力関係の強化
- ・集合住宅の建替えに向けて、住民との協働による地域地区制度等の活用の検討

3. 住宅基本計画 2008年度策定(H21年3月)

(基本目標)

- ・あらゆる市民が安心して暮らせる住宅の確保
- ・適正な水準を満たした住宅の確保
- ・地域特性を活かした地域の魅力形成
(男山地域の再生)

①男山団地の集約(削減)

平成19年12月に公表された「UR賃貸住宅ストック再生・再編方針」において、「団地再生(集約)」と位置付け

団地再生(集約)とは、団地の一部の住棟を除去し、団地の規模を縮小し、集約に伴い生じる整備敷地は公的利用を優先させ、地域の活性化を図り、良好なまちづくりの実現を目指すものである。

(課題解決に向けた方向性)

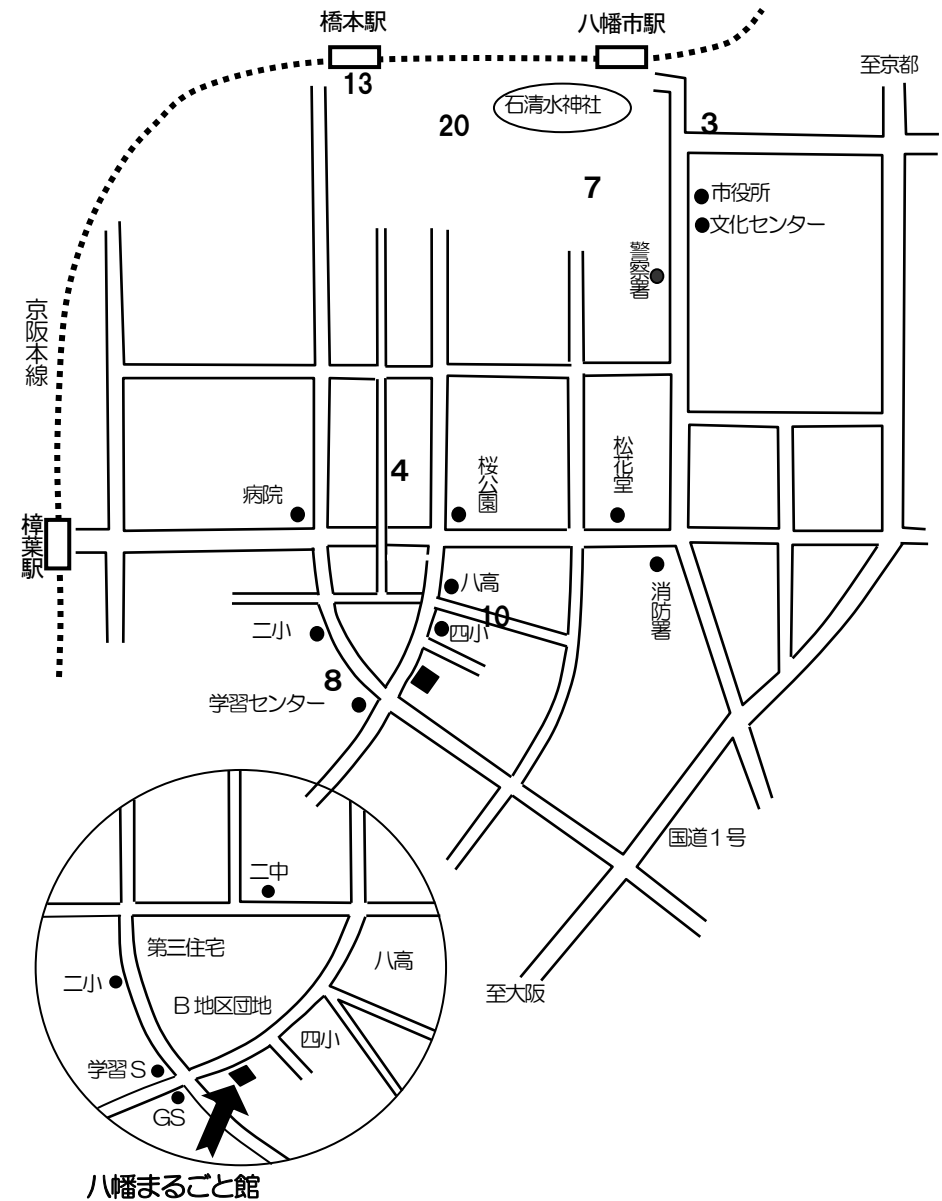
- ①住民と市、公的事業者等が協議する場を創設します。
- ②この協議により男山地域及び男山団地の再生を検討します。

※UR団地(賃貸)の集約に伴い生じる整備敷地の活用

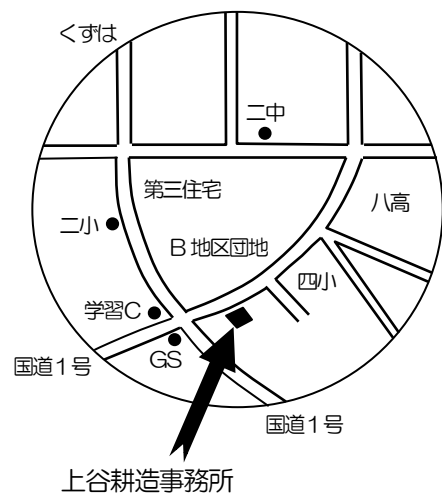
(参考) Ⅲ. 主要施設

	施設名	住所	電話番号
1	八幡市役所	八幡園内75	983-1111
2	八幡市消防本部、消防署	植松 19-1	981-4119
3	休日応急診療所	八幡園内 73-3	983-3001
4	生活情報センター	男山八望3 B51	983-8400
5	文化センター	八幡高畑 5-3	971-2111
6	松花堂	八幡女郎花 43	981-0010
7	八幡市図書館	八幡菖蒲池 11	982-4123
8	男山図書館	男山竹園 2	982-4123
9	生涯学習センター	男山竹園 2	983-6002
10	ふるさと学習館	男山松里 1	972-2580
11	市民交流センター	八幡東浦 5	983-9202
12	男山公民館	男山八望 3	981-4204
13	橋本公民館	橋本堂ヶ原 36	982-8572
14	志水公民館	八幡岸本 35	981-5880
15	山紫公民館	八幡山紫 48	982-0004
16	川口コミュニティセンター	川口萩原 24	982-3344
17	美濃山コミュニティセンター	欽明台西 70	981-2311
18	四季彩館	上津屋里垣内 56	983-0129
19	市民体育館	野尻正畑 12	981-6111
20	男山レクリエーションセンター	八幡大谷 86	983-1611
21	八幡市社会福祉協議会	八幡三本橋 59	983-4450
22	八幡市商工会	八幡三本橋 59	981-0234
23	八幡市観光協会	八幡高坊 8	981-1141
24	山城広域振興局	京田辺市田辺明田 1	0774-21-2101
■	八幡まるごと館	男山松里12-20	983-3664

※主要な施設の場所は、右の図をご覧ください。



- 企画発行 上谷耕造を支える会
政策企画ワーキング・グループ
- 発行日 2010年1月
- 連絡先 上谷耕造事務所
(住所) 八幡市男山松里12-20
(TEL&FAX) 075-983-3664
●E-mail/uetanikozo@zeus.eonet.ne.jp
●URL/<http://www.uetanikozo.com/local>



「市民政治に終着駅はない」

上谷耕造を支える会・顧問 森 茂樹

これは、2009年11月26日の朝日新聞「ザ・コラム」「ポリテイクナルにっぽん」で、朝日新聞本社政治コラムニスト・早野 透氏が指摘されたもので、政治学者・元東大教授丸山真男さんの指摘「民主主義に完全なものはない、永久革命なんだと、終着駅はないんだよ」と言われたことに触発された指摘のようです。

市民政治は、市民の要望・願いを実現するために、市民力を形成して、市民目線で推進するものだと思いますが、このような政治に「終着駅」はないと覚悟して当たれと指摘するものです。だとすれば、市民政治の推進を掲げる上谷市議はもちろん、私ども上谷市議を支援する「支える会のメンバー」も同様の構えでなければならぬと、新たに気を引き締めるものです。

男山再生課題、八幡まるごとミュージアム構想推進課題、年金・医療・生活防衛課題、八幡市の事業仕分けへの取り組み課題、八幡行政の刷新課題等々、課題は山積しています。

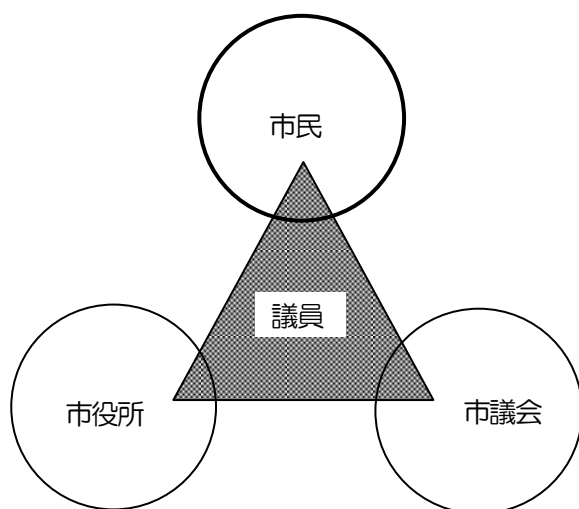
課題をもたらず問題点とその原因、さらには課題解決方向・方策、解決力を構築するための取り組みを粘り強い運動として展開することが、構えの内容となるでしょう。

引き続きご協力をお願いするものです。

(関西マーケティング・フォーラム代表幹事)

まちの主役である「市民」と行政の執行機関である「市役所」、そして市民の代表で構成する「市議会」は、下図のような位置関係にあります。

私・上谷耕造は、市民の代表として、議会を通じて市民が快適に暮せるまちづくりを進めるために「地域主権」「市民協働」「時代先取り」型行政・議会の確立を目指します。



☆☆ 上谷耕造のプロフィール ☆☆

<略 歴>



1949年 香川県小豆島生まれ
1968年 香川県立土庄高校卒業
1972年 立命館大学法学部卒業
1972年 八幡市役所勤務。財政、広報を主に担当
1982年 退職。その後上京し、出版関係の仕事に従事。同時に、労災福祉ボランティアやPTA、市民交流活動などに携わる。

1991年 八幡市議会議員に当選。以後、連続4回当選。この間、市・財団監査委員、市議会副議長などを歴任。
2003年 市議会議長に就任
2004年 八幡市長選挙に出馬(=以上まで、第一次市議時代)
2007年 八幡市議会議員に2位当選し、市議復帰(5期目)(=第二次市議時代へ)・市議会会派・「八幡みどりの市民」(4人)に所属

<議会報告>

● 市議会REPORT「こんにちは！上谷耕造です」を第一次市議時代に約60号、第二次では12号発行し、市民の皆さんにお届けしています。

<議員報酬>

● 議員報酬の引き上げに反対し、値上げ分約100万円超の受け取りを拒否。現在も法務局に供託を続けています。

<現住所>

● 〒614-8364 八幡市男山松里12-20

TEL 075-983-3091

●E-mail/uetanikozo@zeus.eonet.ne.jp

●URL/<http://www.uetanikozo.com/local>

